

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	3068	(H.24)No.	3068
-----------	------	-----------	------

事務事業名	奨学金支給事業(補助金含む)		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学務管理室	中谷 恒雄	

会計区分	事業コード	462001
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 教育費	奨学金支給事業	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	奨学金支給事業(補助金含む)	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	4	高等教育
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
奨学金の支給又は貸付を行い、将来、地域及び社会に役立つ有能な人材を育成します。
事業内容
<名張市奨学金>将来、郷土や社会に貢献できる有能な人材を育成するため、高等学校・高等専門学校の1~3年生、大学又は高等専門学校の4~5年生を対象に、奨学金の支給又は貸付(各10名以内)を行います。 <同和奨学金>歴史的社会的理由により生活環境の安定向上が阻害されている地域の生徒で、経済的理由により修学困難な者を対象とし奨学金を支給します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	支給奨学金 大学生・高等専門学校4~5年生 27人(3,240千円) 高校生・高等専門学校1~3年生 18人(1,128千円) 貸付奨学金 大学生・高等専門学校4~5年生 7人(2,280千円) 高校生・高等専門学校1~3年生 6人(1,020千円) 同和奨学金 継続者5人、新規者2人(567千円) 奨学金選考委員報酬 14千円	支給奨学金 大学生・高等専門学校4~5年生 23人(2,760千円) 高校生・高等専門学校1~3年生 20人(1,200千円) 貸付奨学金 大学生・高等専門学校4~5年生 11人(3,720千円) 高校生・高等専門学校1~3年生 11人(1,920千円) 同和奨学金 継続者6人(486千円) 奨学金選考委員報酬 28千円	奨学金システム構築 3,300千円、支給奨学金 3,960千円、貸付奨学金 5,640千円、委員報酬 28千円、同和奨学金162千円	支給奨学金 3,960千円 貸付奨学金 5,640千円 委員報酬 28千円	支給奨学金 3,960千円 貸付奨学金 5,640千円 委員報酬 28千円

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	8,249千円	10,114千円	13,090千円	9,628千円	9,628千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他(基金)	4,368	3,960	3,960	3,960	3,960
一般財源	(0) 3,881	6,154	9,130	5,668	5,668
人工数					
職員	0.46人	0.46人	0.46人	0.46人	0.46人
臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
概算人件費	(0千円) 3,542千円	3,542千円	3,542千円	3,542千円	3,542千円
+ 総事業費	(0千円) 11,791千円	13,656千円	16,632千円	13,170千円	13,170千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
大学、高等専門学校又は高等学校に在学する者に奨学金を支給し、経済的事情での学費に困る学生に援助を行いました。	奨学金制度の周知に努め、適正に支給・貸付していく必要があります。また、貸付奨学金の償還が開始されるため、償還の管理が必要となります。そのためのシステムの導入が必須となります。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	大学、高等専門学校又は高等学校に在学する者に奨学金を支給して、有能な社会人の養成を図りました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に係る主な市の計画
学習意欲がありながら経済的に困窮する学生を支援するため、継続する必要があります。また、貸付奨学金の貸付・償還を管理するため、奨学金システムの構築が必要となります。	